

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科			
科目名称	保育内容指導法（造形表現）							授業形態		講義・演習	
科目コード	750072	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	園田 博一									ICT活 用	○
授業概要	本授業では、幼稚園教諭や保育士の養成を目的としている。幼児教育の教育者として必要な「造形表現」に関する基礎的な理解を得るための講義である。幼児期の造形表現の特性を知り、子どもの実態を学ぶ。実際に造形表現を体験することで多様性を学ぶ。実際の作品例を通して、多様な視点、柔軟な対処を学ぶ。指導の範囲と援助の意味を特に深く考える内容で授業を進める。										
関連する科目	教科教育法（図画工作） 図画工作演習、図画工作、子どもと手作り遊び、教科教育法（図画工作）										
授業の進め方 と方法	・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」を用いて、造形の目標と内容を学修する。 ・子どもの表現における発達段階を解説し、理解につなげる。 ・実際の作品を検討し、グループでの協議を進める。意見交換を行う。 ・造形の基礎的な制作実習を通して、表現する、作る楽しさを体感・体験する。 ・個人制作からグループによる共同制作に繋げていく。個人から集団への繋がりを作っていく。 ・造形における多様な表現を体験し、表現指導の幅を広げる。 ・制作過程や作品を写真・ビデオ撮影し、作品・工程を記録する。それを視聴しながらの反省・考察を行う。 ・アイデア等の収集にICTを活用する。										
授業計画 【第1回】	オリエンテーション、授業者紹介、自己紹介、授業の受け方について ・保育の中の造形表現とは何か。										
授業計画 【第2回】	今日の幼児造形教育 ・日本における幼児画の歴史の変遷を学修する。										
授業計画 【第3回】	幼児造形表現の発達と様式 ・作例を提示しながら、年齢と対応した表現の在り方を解説する。（スクリブル、頭足人など）										
授業計画 【第4回】	幼児画の特徴（様式）、構図と描法 発達体験 ・作例を解説しながら、幼児画について学ぶ。（レントゲン画、展開描法、多視点画など）										
授業計画 【第5回】	描画材料と素材 演習① ・幼児にとっての身近な素材を取り上げる。紙とクレヨン、鉛筆等。										
授業計画 【第6回】	描画材料と素材 演習② ・絵の具を使った表現を体験する。筆、フィンガーペインティングを体験する。										
授業計画 【第7回】	幼児造形教育の目標と内容① 造形表現の意義 ・テキストを使い解説していく。										
授業計画 【第8回】	幼児造形教育の目標と内容② ・表現を育む人になるために、豊富な事例を解説し、深化を図る。										
授業計画 【第9回】	幼児造形教育の目標と内容③ ・造形を楽しむための造形とは ・受講者が考えた、造形についての取り組みを実現化する。										
授業計画 【第10回】	幼児造形教育の実践① ・フィンガーペインティングを使った作品作りに取り組む。										

授業計画 【第11回】	幼児造形教育の実際② ・新しく、ローラーを使ったペインティング表現を試みる。
授業計画 【第12回】	幼児造形教育の実際③ ・室外で収集した、落ち葉を使つての造形表現を行う。 ・落ち葉の貼り絵、色づくり。
授業計画 【第13回】	幼児造形教育の実際④（造形遊び） ・校庭の砂場で、どろ団子づくりに挑戦する。新聞紙を使った造形遊びの体験をする。
授業計画 【第14回】	幼児造形教育の実際 ・保育案・指導案の書き方を学ぶ、オリジナル題材を基に指導案を書く。
授業計画 【第15回】	幼児造形教育の実際 ・保育案・指導案の書き方を習得する。 ・反省と成果をレポートとしてまとめる。
授業の到達目標	・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」に基づいて、幼児造形表現の目標と内容を理解する。 ・幼児の造形表現の特徴について具体的な作品を通して理解する。 ・幼児画と児童画と大人の絵画の違いを認識する。 ・幼児造形教育の方法の中で援助と指導の在り方を深く理解する。 ・実際に活動し、制作する中で材料や用具、技術について学ぶ。 ・指導案の作成に取り組む。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	遊びについて思い出し、体験をまとめておく。 幼稚園、保育園での体験をレポートとしてまとめる。 身近なものをスケッチする。（約1時間）
授業時間外学習【復習】	学修したことを基に実際に造形表現してみる。生活のなかで試行してみる。 身近なものをスケッチする。（約1時間）
課題に対する フィードバック	テキストに沿って進める授業で、学んだことを要約整理するレポートの評価。実習で学んだことの理解度の評価を対象とする。
評価方法・基準	・実技課題への積極的取り組み、提出課題の評価及びレポート等、提出物の採点による方法でその割合は、授業中の参加態度（質問や発問を含む制作意欲）：40%、提出課題：30%、レポート：30%とする。
テキスト	・「保育をひらく造形表現」 槇英子 2415円 大学生協で販売、購入すること。
参考書	『チゼックの美術教育』w・ヴィオラ著（黎明書房） 『美術による人間形成』ローエンフェルド 『芸術による教育』ハーバード・リード 『保育内容「表現」』平田智久・小林紀子・砂上史子編 ミネルヴァ書房： 2200円
備考	※実技演習ができる服装が望ましい。（準備内容については、事前に予告する。）